



神奈川県立

高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号
県青少年課神之木台分館内
TEL 045-432-5889
FAX 045-432-5891
編集・発行 神奈川県立高等学校
P T A 連 合 会
広 報 委 員 会

第44回

神奈川県高P連大会開催される

パシフィコ横浜にて 06・11・28(火)

11月28日、今年も神奈川県立高等学校PTA連合会大会が、パシフィコ横浜で開かれました。受付開始は9時30分。千人を超える会員が、続々と集まり始めました。受付の理事達にも緊張感がみなぎります。

●開会・表彰式
開会・表彰式の部では国歌斉唱に続き、今年度新しく就任した佐々木一人会長が、主催者を代表して「会員の立場に立った運営を目指すには会員の方々の一層の協力が重要です。」と挨拶しました。そして、来賓挨拶。神奈川県教育委員会引地孝一教育長をはじめ、神奈川県立高等学校校長会佐藤春夫会長、神奈川県立高等学校安全振興会小山秀文理事長と続きました。

●特色ある活動
県大会発表の部では津久井浜高校PTAによる「私たちのParent-Teacher Association」、神田高校PTAによる「神田高校は今……」、大原高校PTAによる「生徒の通学路の安全確保のために」と、以上3校の発表がありました。各地区の地区大会及び、交通安全集会で発表した学校の中から選ばれ、自分たちのPTA活動の特色ある取り組みを発表しました。

●ありのままの自分で
事例発表の部は、岸根高校PTAによる、「岸根高校の地域連携の取り組みとPTAの関わり」についてでした。

●ありのままの自分で
大会の最後は講演で締めくくられました。講師は朴慶南(パクキョンナム)氏。「人の命の大切さ、人間は皆、誰と比べられることもないありのままの自分で良いのだ」という内容で、自身の経験をはじめ、興味深く、皆を感動させた。最後まで、多くの方々が講演を聴き、盛会裏のうちに幕を閉じました。

●ありのままの自分で
大会の最後は講演で締めくくられました。講師は朴慶南(パクキョンナム)氏。「人の命の大切さ、人間は皆、誰と比べられることもないありのままの自分で良いのだ」という内容で、自身の経験をはじめ、興味深く、皆を感動させた。最後まで、多くの方々が講演を聴き、盛会裏のうちに幕を閉じました。



神奈川県立高等学校安全振興会 小山秀文 理事長



神奈川県立高等学校校長会 佐藤春夫 会長



神奈川県教育委員会 引地孝一 教育長

会長のつぶやき

神奈川県高P連 会長 佐々木一人

6月就任以来、各種の研修会や大会等に皆様のご協力を得て、無事に終了しましたことを深く感謝いたします。

各地区大会等に出席して、皆様方の活動に高P連が支えられているというのを感じました。関東大会、全国大会に参加して高校生生活を充実させている素晴らしい高校生が多く活躍していること、各県が地域の特色や条件を生かしてPTA活動に工夫と努力をしていることを

痛感しました。ある講演会で「なぐさめ、いたわり、はげまし、気配り、親切、手助けがある」という話を聞きました。このような心でPTA活動に取り組めば、得ることも多くなると思います。

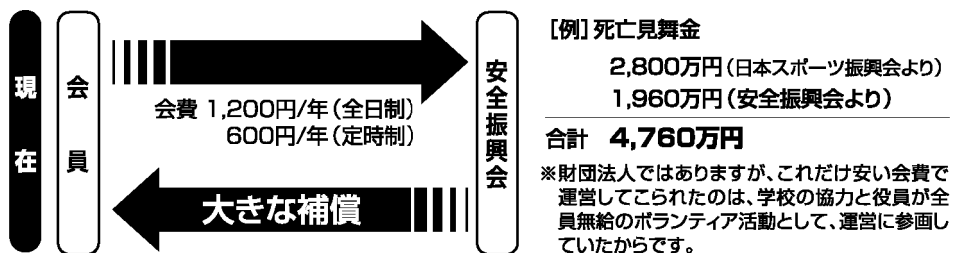


今後も、高P連の研修会や大会を通じて会員の皆様が親子の関係のあり方を学び、生かすなど多くのことを得ていただければと考えております。これからもご協力をお願いいたします。

今、子ども達への補償が危ない!

安全振興会署名活動へのご協力をお願いします — 会長 佐々木一人

安全振興会は学校管理下での生徒の災害の救済を目的として、高P連、校長会、県教育委員会が協力して、発足させた会員相互の組織です。このたび、保険業法の適用除外を求める署名について、全国高P連会長並びに(財)神奈川県立高等学校安全振興会理事長からの依頼を受け、子どもの安全と健康を祈る神奈川の高P連としても是非協力していきたいと考えます。



今回の保険業法改正で、安全振興会がその適用を受けると...

以下の①②③のいずれかを選ばなくてはなりません。

- ①一般保険会社の商品にする。
10万人の加入があったとしても、現在のような保障を受けるには、**掛け金(会費)は→現在の5倍以上!**
 - ②小額短期保険業者となる。(補償が低くなる)
 - ③廃業する。
- ◎また、修学奨励金や補助金、協賛金、委託金の給付等生徒の健康や安全を守るといふ趣旨の各種事業の展開にも甚大な影響を受けることが予想されます。



「ありがとう」ってステキ

私が子どもの頃、人から何かしてもらったり、物を頂いたりしたときには、周りにいる大人の人たちから、「お礼を言いなさい」とか「ありがとうは？」と、よく言われたものです。でも、いつの頃からか私が大人に近づくにつれて、だれも、そんなことは言ってくれなくなってきました。もちろん、言われなくても「ありがとう」と言うことはあたり前のことです。でも、みなさん、胸に手をあてて考えてみてください。そんな、当たり前のことがきちんと言えていますか? 大人になって、誰にも言われなくても「ありがとう」と言える人ってステキですよ。そして、自分の子どもに対して「ありがとう」と言っていますか? ちょっとした事でも「ありがとう」と言われた時、自分が素直に言えた時、とてもいい気持ちです。生活の中にあるあたり前の「ありがとう」。気持ちよく素直に言える、ステキな大人になりたいものです。(広報)

第30回
2006年度

PTA

広報紙

コンクール

表彰校

「UMIKAZE」三浦臨海高等学校に栄冠!

今回のコンクールには98校PTAの応募があり、そのうち15校が1月10日の審査を経て下記の各賞を受け取りました。生がスライドを交え、講演をされました。



最優秀賞の三浦臨海高等学校PTAと広報紙

大内先生の講演

今年、初めての試みです。昨年7月パシフィコ横浜で開催されました研修大会広報委員会研修での講師であり、大内先生に、引き続きご講演をいただきました。



熱弁をふるう大内 文一先生

レジメを使用して、PTA広報作りには大切な5つの段階と働き(下段左)を、今年度応募のあった広報紙を例にとつて丁寧に説明され、フロアを所狭しと動いて、熱のこもったお話し、思わず引き込まれてしまいました。

「素人の母親が作っているのだから、上手に作ろうと思うな。PTA広報は、母親の願いと祈りが込められていればよい!」等、大内語録とも言うべき言葉は非常に説得力のあるものでした。

審査講評

審査委員長
神奈川新聞社 高野 学様



保護者の視点で、PTA・学校現場の実情を家庭に

「広報紙の役割とは何なのか?それは保護者の視点・立場でPTAの活動、学校現場の実情を主に家庭に伝えることです。

紙面作りで大事な事は、「読者がわかりやすい工夫をしているか」「何について書いているのか」「筆者はだれなのか」です。活動報告でもただ時系列と日程を書くだけでなく、参加した人の感想、新たな発見等を盛り込み、興味深い内容にしたり、誰が読んでもわかる紙面作りを心がけましょう。レイアウトでは、色使い、写真の使い方が決め手です。カラー写真が多い面では、カットや見出しに色はつけない、写真はいい写真は大きく、次は中くらいに、後は小さくと大きさを変えてレイアウトすべきです。忙しい生活の中で、広報紙を発行することは大変な事だと思えますが、「皆さんは物事を調べる特権を持っている」と考えてください。その特権を生かし、保護者を代表して知りたいことにどんどん挑戦していきましょう。

PTA広報 5つの段階と働き

- 1 現状を変える
だからどうしたいのか・手だてを提案
- 2 考えさせる
テーマを絞った特集で問題を投げかける
- 3 知らせる
今、学校とPTAで何をやっているのか
- 4 記録する
年度末の反省や記念誌を作る時に役立つ
- 5 広報委員だけが「作った」という自己満足
読者のことを忘れ、自画自賛

安全振興会作文コンクール

今年も県立高等学校安全振興会作文コンクールに412篇の応募がありました。詳細は4面をご覧ください。

お知らせ・神奈川県教育委員会からののお知らせ・神奈川県教育委員会からののお知らせ・神奈川県教育委員会からののお知らせ・神奈川県教育委員会からのお知らせ

今春、県立高校3校で定時制の総合学科がスタート

県立高校改革推進計画後期実施計画により、平成19年4月、磯子工業高校(横浜市磯子区)、向の岡工業高校(川崎市多摩区)及び平塚商業高校(平塚市)の定時制課程を総合学科に改編します。

「新校設置計画」策定
平成18年10月、平成20年度に開校する新校8校(*)の設置目的・基本理念、具体的な教育内容等をまとめた「新校設置計画」を策定しました。計画の内容や新校の特色等、詳しくは、県のホームページ

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/ed_seisaku/syorai/menu.htm
や県政情報センター等の県の窓口で、ご覧ください。

(*)①横浜泉方面総合学科高校【岡津高校・和泉高校】、②秦野方面総合学科高校(全日制課程・定時制課程ともに改編)【秦野南が丘高校・大秦野高校】、③小田原方面総合ビジネス高校【小田原城東高校・湯河原高校】、④横浜南方面国際情報高校【六ツ川高校・外語短期大学付属高校】、⑤横須賀方面海洋科学高校【三崎水産高校】、⑥横須賀方面集合型専門高校【久里浜高校・岩戸高校】、⑦相模原方面集合型専門高校【弥栄東高校・弥栄西高校】、⑧横浜泉方面通信制新タイプ高校の8校。【 】内は再編対象校で、①～⑥は先に記載している学校の施設を、⑦は両校施設を、⑧は和泉高校施設を活用して新校を設置。

●問い合わせ/教育政策課 県立高校改革推進担当
電話 045 (210) 8090

かながわの教育ビジョン 策定に向けて

県教育委員会では、平成17年11月に公表した「かながわ人づくり宣言」を契機に、教育ビジョン策定に向け、多くの県民の方々との議論を続けてきましたが、それらの議論をもとに、昨年12月に「かながわ教育ビジョン(仮称)素案」を公表しました。

この素案では、基本理念を、「未来を拓く・創る・生きる人間力あふれる かながわの人づくり」とし、自己肯定感を基盤に、思いやる力、たくましく生きる力、社会とかかわる力を身に付けることを教育目標に掲げ、家庭、学校、社会へと続く成長の過程で、様々な人々が役割と責任を自覚して、協働による人づくりを進めることとしています。

そして、人の生涯を乳・幼児期、児童・青年期、成人期、円熟期の4つの段階に分け、家庭、地域、企業、学校、市町村、県等の各主体が、人づくりにどのようにかわり、取り組んでいくべきかについて整理し、さらに、県としての展開の方向や重点的な取組みを示しています。

この素案の内容については、県のホームページ

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/ed_seisaku/forum/annai.htm

をご覧ください。かながわのよりよい教育のあり方について、ご意見・ご提案をお願いします。

●問い合わせ/教育政策課 企画班
電話 045 (210) 8081

高校生ボランティアセンター 活動紹介

県教育委員会では、平成18年度から、高校生の学校内外におけるボランティア活動を推進するため、NPO・関係団体等との連携の下に、生涯学習情報センターの一部を高校生のボランティア活動の拠点(高校生ボランティアセンター)として整備し、高校生のボランティア活動の支援を進めています。

高校生ボランティアセンターでは、ボランティア活動の企画・運営、高校生ボランティア同士の交流など、高校生の主体的な活動の支援を目指しています。運営するスタッフは、県内の高校から募集し、現在約60名の高校生スタッフが五分野のグループに分かれ活動しています。各分野別グループの活動の一部を紹介します。

- 【青少年グループ】
「子どもと楽しみながら勉強しよう」という活動を企画・実施しました。
 - 【高齢者支援グループ】
「シニア体験講習会」を開催しました。
 - 【環境グループ】
野毛山動物園の清掃活動などを企画中です。
 - 【国際関係グループ】
海外へ絵本を贈る活動を企画中です。
 - 【障害者・医療支援グループ】
補助犬の活動の啓発を企画中です。詳細、高校生ボランティアセンターホームページ
- http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm
をご覧ください。

●問い合わせ/県生涯学習情報センター
電話 045(312)1121

「親子コミュニケーション」の勧め

昨年は、子どもたちのいじめによる自殺という悲しい出来事が大きな社会問題となりました。

いじめ暴力行為等防止運動推進会議は、校長会、PTA関係団体、教育委員会の代表で構成され、いじめや暴力行為をなくしていくようとする組織です。

これまでは、学校での取組を中心に協議してきましたが、今年1月19日の会議において「親子コミュニケーション運動」という、学校だけではなく、家庭においても、いじめ・暴力行為防止に取り組んでいくようとする提案がPTAの委員からなされ全委員から賛同されました。

家庭における親子のコミュニケーションで安心できる温かな親子関係を育み、いじめの早期発見だけではなく、様々な問題行動の防止にも繋げていくようとするものです。例えば、毎月、「親子コミュニケーションの日」や、「家族と話そうDay」を設定し、家族で食卓を囲み和やかに食事をしたり、スポーツやゲームなど親子で一緒に時間を過ごしたり、一日テレビをつけないなど、意識的に親子のコミュニケーションの機会を作っていくようとするものです。

今後、さらに具体的な提案をさせていただき、大きな草の根運動としていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援を宜しくお願いします。

●問い合わせ/児童生徒指導室
電話 045 (210) 8295

高P連を知ろう！—HPリニューアル—

●知りたい情報がここにある

「県高P連」とは、どんな組織なのでしょう？そして、どんな活動をしているのでしょうか？あなたのお子さんが通っている学校は、どこの地区でしょう？高P連理事会報告やイベント情報、また地区大会や交通安全集会の様子など各地区協議会の事業など多彩な情報を掲載できるようになりました。今後も、会員の皆さんが知りたい情報を掲載できるよう広報委員会では皆さんからのご意見やご要望をお待ちしております。

HPにお問い合わせフォームがありますので、そちらからも問い合わせができます。

さあ！県高P連のHPに今すぐアクセス！

●リンクしませんか？

昨年10月より、高P連HPと各単位PTAや学校との相互のリンク希望を受け付けています。これからも引き続き、リンクを受け付けておりますので、ご希望のPTAや学校は、HPのお問い合わせフォームから、または、事務局へ連絡してください。お待ちしております！電話、ファックスは以下の通りです。

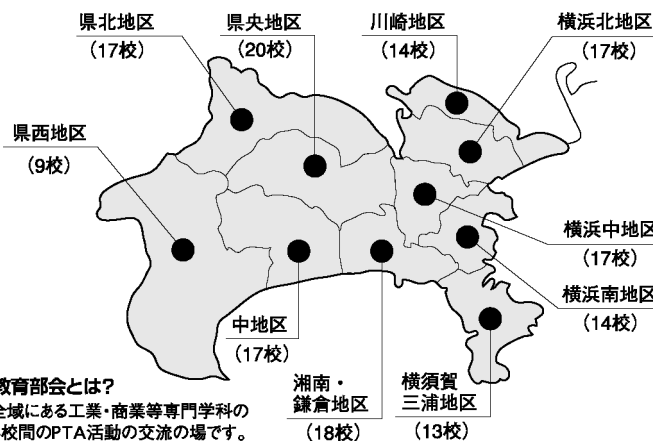
TEL.045-432-5889
FAX.045-432-5891

<http://www.kanagawa-koupren.org/>



いろいろクリックしてみよう！

●●● 神奈川県の10地区と1専門教育会—HPトップでもご覧頂けます—



※専門教育会とは？
県下全域にある工業・商業等専門学科のある学校間のPTA活動の交流の場です。

こんな活動をしています

高P連は、6月から新年度が始まります。原則として8月を除き毎月一回の役員会・理事会があります。地区の情報交換や、高P連からの連絡事項が報告されます。

2006	18(日)	平成18年度総会
6	27(火)	平成18年度新旧会長研修会 第1回役員会・理事会
7	2(日)	第1回研修大会
	7・8(金・土)	第52回関東大会(千葉)
	19(水)	第2回役員会・理事会
	28(金)	第1回交通安全対策特別委員会
8	1(火)	県教委主催高P連担当者会議
	24・25(木・金)	第56回全国大会(秋田)
	31(木)	第1回交通安全運動連絡会
9	5(火)	第3回役員会・理事会
10	16(月)	第4回役員会・理事会
11	13(日)	第5回役員会・理事会
	28(火)	第44回県大会
12	14(木)	第6回役員会・理事会
2007	10(水)	広報紙コンクール審査会
1	23(火)	第7回役員会・理事会 広報紙コンクール表彰式
2	11(日)	健全育成大会
	16(金)	第2回交通安全対策特別委員会
	22(木)	第8回役員会・理事会
3	8(木)	第2回交通安全運動連絡会
	15(木)	第9回役員会・理事会
4	11(水)	第10回役員会・理事会
5	19(土)	第11回役員会・理事会、 予定者研修会
	22(火)	地区交通代表校説明会

地区研修大会報告

今年度も県下10の地区と、1専門部会で研修大会が行われ、各地区いろいろ「子どものために」をコンセプトにして、活発な活動が行われました。各地区の取り組みを報告します。

横浜北	10月14日(土) 担当校/霧が丘 会場/東洋英和大学 14:00~	発表校 横浜翠嵐高校PTA 神奈川総合高校PTA
横浜中	10月14日(土) 担当校/保土ヶ谷 会場/旭公会堂 13:00~	発表校 光陵高校PTA 上矢部高校PTA
横浜南	10月28日(土) 担当校/金沢総合 会場/関内ホール 13:00~	発表校 氷取沢高校PTA 港南台高校PTA
川崎	10月17日(火) 担当校/麻生 会場/高津市民館 12:30~	発表校 住吉高校PTA 向の岡工業高校PTA
横三	10月26日(木) 担当校/横須賀大津 会場/横須賀市文化会館 13:30~	発表校 津久井浜高校PTA 岩戸高校PTA
湘鎌	10月17日(土) 担当校/藤沢 会場/藤沢市民会館 13:00~	発表校 茅ヶ崎北陵PTA 鶴嶺高校PTA
中	10月27日(金) 担当校/五領ヶ台 会場/平塚市民センター 13:30~	発表校 秦野曾屋高校PTA 神田高校PTA
県西	10月14日(土) 担当校/大井 会場/大井町立中央公民館 13:00~	発表校 山北高校PTA 西湘高校PTA
県央	10月19日(木) 担当校/厚木北 会場/厚木市文化会館 13:00~	発表校 座間高校PTA 有馬高校PTA
県北	10月14日(土) 担当校/相模原 会場/県立神奈川総合産業 13:00~	発表校 新磯高校PTA 上溝南高校PTA
専門	9月16日(土) 担当校/小田原城北工業 会場/県立小田原城北工業 10:30~	講習会: 小田原ちょうちんの制作 学校見学等

交通安全集会報告

今年度も県下10地区に於いて、交通安全集会が開かれました。この集会は“子ども達の交通事故0”を目指して保護者が日々努力している事や活動している事例を発表し、交通安全について意識を高め合う良い機会となっています。

●交通安全高校生大会との同日開催が実現

また今年度は新たな試みとして、5地区に於いて、交通安全高校生大会とPTA交通安全集会が同日開催されました。この試みは、子ども達のために行っている交通安全集会を、『一番伝えたい子ども達と共に開きたい』という保護者の熱い思いから実現した



県西地区は、高校生とPTAが合同で行いました。

同日開催を果した地区からは、限られた時間の中で、それぞれの時間配分に苦労しながらも、「そこに親の思いを伝えたい高校生がいて、発表する側としてもやり甲斐があった。」「高校生と一緒に一つの問題に取り組めて感動した。」「保護者の皆さんの思いが良く分かった。など、おおむね成功であったとの感想が寄せ



横浜北地区交通安全高校生・PTA大会

飲酒運転の被害でご子息(元紀君)を亡くされ、飲酒運転撲滅と、命の大切さを遺影とともに、全国で講演活動をされている岩岩悦子さん。(左) (右)高P連、石川副会長

「あなたがえのない命を守るために」

られました。

しかし、この同日開催にあたっては“高校生が主体となっていてはならない。”“保護者は保護者の立場で交通安全を考え、保護者としての責任を忘れてはならない”との交通安全教育に対する根本的な意見もあります。

●かけがえのない命を守るために

交通事故はいつでもどこでも誰にでも起こりうる被害者にとっても加害者にとっても悲惨としか言いようのない痛ましいものではありませんが、ちょっとした注意、気持ちの持ち方、心と時間のゆとりで、防げるものと確信しています。開催形式はどうであれ、私達は『子ども達の命、かけがえのない命を守るために』、この大会が単なる行事で終わらず、子ども達に命の大切さを伝えていくことが何より大切な事ではないでしょうか。